

## 令和6年度 第1回部長会（概要報告）

- ・日 時 令和6年4月2日（火）午前9時00分～
  - ・場 所 八尾市役所第2委員会室
  - ・出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等
- .....

## 令和6年度 第1回部長会概要記録

日時：令和6年4月2日

午前9時～

場所：8階 第2委員会室

### 【市長あいさつ】

おはようございます。

令和6年度の第1回目の部長会にお集まりをいただき、大変ご苦労さまです。

本日は人事異動後初めての会議ですので市立病院長や看護局長、代表監査委員にも出席いただいております。

4月1日付けで500人規模の人事異動を実施いたしました。例年のことですが、市民サービスに滞りがないよう、円滑な事務事業の引き継ぎと、災害発生時にしっかりと対応できるよう、速やかに体制を整備していただくことをお願いしておきます。

今年度の新規採用職員は、大阪府からの派遣職員1名を加えると、総数66名となっております。昨日、今年度の新規採用職員に対して発令を行いました。新たな仲間に加わってもらうことで組織が一段と活性化することを期待しております。一方、あらゆる仕事は1人で成し遂げることはできません。1人の知恵よりも、2人、3人の知恵、つまり、衆知を集めることで、市民サービスを一段と向上させることができます。だからこそ、それぞれの職員が存分に能力を発揮できる風通しのよい組織が極めて重要だと考えております。

市民の皆さんに寄り添いながら、市民最優先の姿勢で、行政として何ができるかを常に考え、目標を持って積極的にチャレンジできる環境づくりを、部局長の皆さんにはお願いしておきます。

昨日、新規採用職員に訓示を行い、「今日の気持ちを忘れずに、これから長い公務員生活をしっかりとやっていただきたい、それにはやはり市民最優先の視点を持っていただきたい」と話しました。八尾市に就職するまでは、行政からサービスを受ける側だったのが、今度は市民に提供する側になります。税金の使い方も含め、今まで行政サービスを受ける中で感じていたことを活かし、市民感覚をしっかりと持って、これからの業務に当たっていただきたいと伝えました。これから業務を行う中で、いろいろ気付きや疑問があれば、同僚、上司、部局長にしっかりと相談・提言するとともに、指導もいただきながら取り組んでいただけるよう、風通しのよい組織づくりを八尾市は進めていると伝えていきます。新たな職員を迎える中ですので、部局長の皆さんには、そういった人材育成も含めて、しっかりと取り組んでいただきたいと思っております。

新しい年度を迎え、業務も多忙となる時期ではありますが、職員の皆さんには、体調には十分留意され、引き続き業務に当たっていただきますようお願い申し上げます。

## 案件

### 1 令和6年度の災害応急対応職員及び避難所開設員の選出等について 危機管理監

八尾市地域防災計画に基づき、災害発生時の応急対策を迅速かつ的確に実施するため、災害応急対策職員及び避難所開設員の選出を依頼いたしますので、ご協力をお願いいたします。

災害応急対策職員の選出について、各グループの各班において、引き続き2班体制にて、災害対応を行うための災害応急対策職員一覧表を作成していただきます。詳細につきましては、別途依頼をいたしますので、ご協力の程よろしくをお願いいたします。

避難所開設員の選出について、避難所開設の際の連携強化を図るため、令和6年度につきましても、昨年同様に部局単位で避難所開設員の選出を依頼いたします。

各避難所(3名×2)の2班体制を維持し、部局ごとに避難所を当てはめていきます。具体的には、危機管理課より部局毎の開設員数と避難所を提示いたしますので、各部局にて各避難所に開設員を当てはめていただきます。開設頻度が高い土砂災害と大和川のハザードが懸念されるエリアの8避難所(旧中高安小・南高安中・高安小中・八尾翠翔高・大正小・大正北小・大正中・南木の本防災体育館)のうち、南高安中学校と高安小中学校の2避難所については、福祉避難所開設等の調整業務があるため、前年と同様、健康福祉部で固定させていただきます。それ以外の6避難所については、例年に引き続き、部局持ちまわりにて担当する仕組みで運用いたします。

なお、各部局職員数の把握のため、本会議後に別途各課へ照会をさせていただきます。年度はじめのご多忙中に恐縮ですがご協力の程よろしくをお願いいたします。各部局の職員数を把握した後に、正式に避難所開設員の選出依頼をさせていただきますので、合わせてご協力をお願いいたします。最後になりますが、令和6年度は八尾市地域防災計画の改訂を実施いたします。今後、本計画に対する全部局への意見照会等を実施していく予定です。本市のさらなる防災力強化のため、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

#### 【植島副市長】

昨日も東北地方で震度5の地震が発生しております。

日本列島、どこで起きてもおかしくない状況があるなか、災害が発生すれば、すぐに対応することが必要になります。

人事異動後といったことは市民にとっては全く関係ありませんので、起きたらすぐに対応できるよう、各部局それぞれ体制を整えていただき、万が一のときの対応に備えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 2 令和6年度人事異動の規模等について 総務部長

異動の規模につきましては、市全体で494名、60歳を迎えられた方が多い年であることと、初めて役職定年制度が導入され主幹・主査での異動が多いこともあり、昨年度と比較すると規模が大きくなっています。詳細は、資料に記載のとおりでございます。

以上、令和6年度の定期人事異動についてのご報告となります。なお、今年度の行政職の新規採用職員については、4月5日(金)に各部長に内示を行う予定で、発令式は、4月8日(月)の予定となっています。詳細の時間等については、新規採用配属予定部局に追って通知します。

### 【こども若者部長】

部局長が今女性2人で、最大4人のときに比べて半減しており、今後、次世代の方が、昇任できるようにというふうに願うところです。

一方、今回次長になられた方が3人おられるので、近年に比べたらすごくそこは良くなったと思います。

本市の場合、管理職は課長補佐からですが、ここで女性の割合が下がることが、今回の資料を見ているとはっきりしています。

係長級までは、男女差があまりなくて、一般職に関しては女性の方が多い。採用年次によって、事務職で女性の方が多かった年次が結構あったので、それが響いていると思います。

本市に限った話ではないですが、管理職が圧倒的に男性ばかりということもよくないし、10年後も、変わらないのではないかと懸念しています。

部門によって、男性のみという傾向もありますので、一定職種によって仕方がない部分とかもあるとは思いますが、事務職中心の部分なら本来それは改善していく必要があると思います。

企業では今ダイバーシティ経営と言っています。ダイバーシティは決して性別だけではないですが、大きくはこの日本社会においてやはり性別ということになると思います。

職階等をよく見ると、係長になるところで女性の方が少ないのかと思います。

育児休業のイメージと重なってくるのがおそらく背景にあると思いますので、育休前後の時期を各所属の方で、やる気を削ぐようなことがないようにしていけたらいいのではないかとすることは自分自身も含めて思うところです。

10年後のこの部長会が、女性半分ぐらいになったらいいなという思いを込めましての意見でした。よろしく願い申し上げます。

### 【総務部長】

資料上もやはりまだまだ女性職員の管理職が少ないという現象があります。これはどうしてもライフステージ上の問題、或いは子育て期、介護等の課題があります。

育休については女性職員が多いですが、最近は大いぶん男性職員も取得してきている、というような状況もありますので、組織全体で女性職員をしっかり管理職に育てていくというところを各部署長或いは所属長が念頭に置く必要があると考えています。

数字上のことを少しだけ申し上げますと、市長部局は今回昇格84人のうち33人が女性で、昨年は70人のうち13人が女性ということで、今回かなり女性職員が昇格しています。

採用時点での女性の割合も、最近はややぐらゐ或いは女性の方が多いという年もありますので、この先、女性職員がこの部長会にもいずれは半数を占めると、というような状況をめざして、本市もやっていくべきと考えております。

### 【監査事務局長】

女性、男女の比率、働き方の課題というのは非常に大きな課題で、その改善に向けて、取り込むことは非常に大きなことだと思います。

気になるのが、いつまでこの資料において内数で出すのか、表現の仕方は、男性何人、女性何人っていう形など、今後検討してもらいたいと思います。

### 3 第4次八尾市職員こころの健康づくり計画について

総務部長

まず、昨年実施いたしました職員アンケート調査におきましては、ご協力をいただきましてありがとうございました。

本市では、平成21年4月に第1次「八尾市職員心の健康づくり計画」、平成26年4月に第2次計画、平成31年4月に第3次計画を策定し、メンタルヘルスの取り組みを推進してきました。この度、これまでの取り組み状況や本市のメンタルヘルスの現状、職員アンケート調査の結果を踏まえ、八尾市職員こころの健康づくり計画推進委員会での議論を経て「第4次八尾市職員こころの健康づくり計画」を策定いたしましたので、ご報告いたします。

第4次計画では、「全職員のこころの健康の保持・増進」を目標に①職員一人ひとりのこころの健康づくりの推進、②職場のみんなでメンタルヘルスの推進、③職員の職場復帰に向けた取り組みの3つを基本方針に据え、職員一人ひとりがその予防の重要性を認識するとともに、職場の全職員が協力してそれぞれの立場でそれぞれの基本方針に応じた取り組みを行うことで、職員が安心して働き続けられる職場をめざすものです。

今年度からは、この計画に基づき、こころの健康づくり活動を行って参りますので、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

部局長においては、職場内の職員全員がメンタルヘルスに対する理解を深め、お互いにケアし合える関係を構築できるよう、所属長等と連携し、職場環境の改善等にリーダーシップを持って取り組んでいただきますようお願いいたします。

「第4次八尾市職員こころの健康づくり計画」は、4月上旬にグループウェアに掲載する予定です。詳細については、別途メールにてお知らせをいたしますので、各所属長への周知についてご協力をお願いいたします。

特に意見なし